

平成27年1月定例教育委員会会議録

1. 開会宣言 平成27年1月6日（火） 10時00分
2. 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
3. 出席者 河本委員長・中尾委員・衛藤委員
左京委員・増田教育長
4. 教育委員会事務局出席者
松尾教育部長 田中教育総務課長
蛙田生涯学習課長補佐 片平学校教育課長
毛利学校教育課指導室長 松永学校教育課長補佐
尾中指導主事 米満教育総務課長補佐
5. 傍聴人 2人
6. 議 題
 - (1) 前回会議録の承認について
 - ・平成26年12月定例教育委員会会議録
 - (2) 報告
 - ・平成27年1月学校教育行事及び社会教育行事について
 - ・その他
 - (3) 協議事項
 - ・平成27年2月定例教育委員会の開催について
 - ・平成26年度卒業式・平成27年度入学式中間市教育委員会出席分担割
 - ・その他

7. 審議の経過及び結果

(1) 前回会議録の承認について

平成26年12月定例教育委員会会議録、出席委員全員了承する。

(2) 報告

平成27年1月学校教育行事及び社会教育行事について

●学校教育、社会教育それぞれ1月の行事予定表に基づき関係課長から順次報告がなされた。

質 疑 応 答

〈中尾委員〉

まだ、冬休み期間中ですが、事故等の報告がありますか。

〈片平学校教育課長〉

現在のところ、事故等の報告はございません。

〈左京委員〉

1月20日に、小中授業力向上研修会が開催されますが、主催と研修対象者並びに研修内容について教えてください。

〈尾中指導主事〉

主催は、北九州教育事務所になっています。事務所管内に24名の先生が受講されます。中間市内からは4名の先生が受講されます。年に6回の開催の内、第6回目になります。内容は、一年間かけて授業づくりの指導案と授業を実際に受けておりますので、そのまとめの研修という位置付

けになっています。

〈左京委員〉

この研修の目的と言いますのは、結果的には子どもたちの学力向上を目指すというふうに理解してよろしいのですか。

〈尾中指導主事〉

はい、その通りでございます。授業改善を通して子どもたちの学力向上を目指します。

〈左京委員〉

と、言いますのは、今後、国の全国学力学習状況調査の結果の公表が行われることを受けて、各市町村における子どもたちの学力は、以前にも増して注目される事になると思います。ある資料によれば、学力向上の対策といたしましては、主に、4点ありまして、第一に「教科等の授業の改善の取組み」、第二に「基本的生活習慣の確立や授業中の学習規律の確立、生徒指導に関連した取組み」、第三に「家庭における学習や生活の見直し」、第四に「少人数習熟度別指導といった教育環境や教育条件の改善」、このことは、本市の平成26年度の学校教育重点目標においても個に応じた多様な教育として、現在、教育委員会としても推進している所です。また、本市は、市より多額な予算配分を頂きまして、市内全小中学校に空調設備が設置される予定となっておりまして、施設面では教育環境は格段に改善されることが見込まれます。これらの事を踏まえますと、学校における学力向上の取組みとしては、第一・第二・第三はもっと必要になると思われませんが、どのようにお考えですか。

〈片平学校教育課長〉

小中連携を基にした授業力改善ということで、実際に校区别で取組みを進めています。特に、B問題の「活用力」が非常に弱いです。知識はあるのですが、それをどのように活用するのか、どのように説明するのかが弱いです。

〈左京委員〉

ある資料に「授業力とは単に一方的に教え込むのではなく、子どもたちへの学習への関心、意欲を高めながら学び方を学ばせ、指導すべき事を指導する力である」と述べられています。先生方が今、言った様な事を実践されるためには、より深い専門的知識を習得し、その指導方法についても研究する必要があると思いますが、本市の現状において、先生方の授業力については現段階ではどのように捉えていますか。

〈片平学校教育課長〉

まだまだ子どもたちに「なぜ」の問いかけが薄いのではないかと思います。授業力向上という事で式の計算等は子どもたちに反復練習させているが、考えさせる授業・子どもたちに表現させる授業や説明させる授業等は弱いです。

〈左京委員〉

先生方の授業力向上の取組みとしては、色々あると思いますが、本市の学校教育重点目標においても教職員の実践的指導力の向上ということで掲げています。一番目は「校内研修・研究の充実」、二番目は「専門機関における専門的知識・技能の習得」、三番目は「若年教職員への研修会の推進」、四番目は「教育論文の応募・教育研究の奨励」等が掲げておりますが、学校外で行われる、これらの研究・研修への参加状況はどのようになっていますか。

〈片平学校教育課長〉

可能な限り、県教育センター等の研修に行っています。夏休みの研修等を重点的に参加させ、また、学校管理職が個人に合わせた研修を選択させ、参加させています。

〈左京委員〉

先月、経済協力開発機構が発表された調査結果でも、中学校の先生の勤務時間は34ヶ国中で最長という事です。指導力向上のための研修には、参加意欲は高いものの、多忙で参加できない実態があるという事です。それと併せまして、平成26年度の市教育委員が学校訪問した際に、先生方は非常に忙しいという事は校長先生からお伺いしていますが、本市の子どもたちが、将来に向かって、自らの進路を切り開ける様な学力をつける事を願って、教育委員会としても、より多くの先生が研究・研修に参加して授業力の向上に努めて頂ける様に指導して頂けたらと思いますが、

どうですか。

〈片平学校教育課長〉

研修等に参加する場合には、1人ではなくベテランの先生も同行して「今日の授業は〇〇が良かったね」とか、授業の良さを見抜く力をつける等が自分の授業を向上させる一つではないかと思っています。

〈衛藤委員〉

1月23日に底井野小学校でアクロス学校キャラバン事業が行われますが、具体的にはどのような事業ですか。

〈毛利学校教育課指導室長〉

本物の舞台芸術を体験する事業でありまして、数年に一回応募して九州交響楽団が来校しまして、生の音楽を聴かせる事業です。3・4年生を対象に実施します。

〈衛藤委員〉

標準学力検査が全小学校で予定されていますが、学力検査につきましては、1年間に子どもたちが学習した内容がどれだけ理解し、定着しているか等を検査するという事で、年度末か翌年に実施するものだと思っていましたが、時期的な事と内容を教えてください。

〈毛利学校教育課指導室長〉

標準学力検査というのは、業者のテストでありまして、各学年実施するという事です。一昨年は、2月中旬に行っていましたが、基本的には、2学期の11月末までの内容で実施するものです。早く実施する事で残り3月の時点で再度、課題がはっきり見えてきた所を学年の中で補おうという目的がありまして、今までですと課題を補充する時間等が確保できなかったのが1月の下旬までに実施をするという事です。

〈衛藤委員〉

質問をした理由は、小学校の学力検査が、近年、上向き傾向になっていると言う事がありますので、これとの関係性があるのではないかと考えましたので、一応、この時期に子ども・先生を含めて自分たちの学力が、どの程度どのように着いているのかの検査を行うと目標がはっきりしますので、その検査と5月の学力検査が繋がる気がしています。そうすると小学校の上がっている部分というのは、この様な部分がかかなり良い意味で効果に繋がっているのではないかと思いますので、中学校も手立てを講じれば結果が違ってくる様な気がします、どうでしょうか。

〈毛利学校教育課指導室長〉

やはり、小学校の学力検査においては、6年生で行いますが、それ以前の各学年での基礎・基本の知識が重要になってきますので、日々の積み重ねがしっかり定着できているのかを確認していく段階におきましては、その学年の中できちんと習得させていくという積み重ねが大切だと思いますので、三学期の1月に実施するという事は、有意義な部分があると思います。中学校におきましては、課題テストが年度初めに実施されますので、それについては、1年生の部分につきましては、小学校全体をどの程度習得しているかを確認する上で必要でございますし、中学校におきましても定期考査及び学期の初めに課題テストがありますので、それと学力テストとの関連性を把握しながら今後も実施していければと考えています。

〈衛藤委員〉

課題テストは知識・能力がどれだけ定着しているのかにウェイトが掛かってしまうので、B問題になると、かなり遠ざかった内容だと思います。そのような意味で言えば、小学校の学力標準検査は、B問題に近い内容が盛り込まれていると思いますので、その違いが結果として出てきているのではないかと考えています。

〈毛利学校教育課指導室長〉

標準学力検査につきましては、B問題の活用力をみる部分のテストも実施されています。小学校におきましては、日常的に単元別のテストでB問題に対応したテストを日常的に行う事に慣れていないので、この様な、標準学力検査等を実施することによって子どもたちも全国学力テストに対応できているのだと思います。今後は、中学校におきましても、日常の定期考査の中でB問題に対応できるような試験問題の出し方等も、それぞれの教科の先生の中で検討して頂いています。

〈河本委員長〉

中間西小学校でネットいじめ防止教育で行われますが、他の小学校でも行われるのですか。それと内容も教えてください。

〈片平学校教育課長〉

これは、県の保護者と学ぶ規範意識推進事業の一環として授業があつております。ネットいじめ・性について・薬物について等を選択しながら外部講師を呼んで行っています。中間西小学校のネットいじめ防止教育もNPO 団体を呼んで保護者も併せて勉強会を行うものです。他の小学校も時期が違いますが行っています。現在、スマホ・SNS 等は便利だが性犯罪・いじめに繋がると危惧されています。そのことに伴い、昨年度から小中学校のPTA の会長10人集まって頂きまして、これらの危険性や家庭内のルールについて協議しました。その中で、保護者がラインについてよく知らない様なので、各学校3名ずつ来て頂いて研修会を行いました。昨年度末で講師は、教育センターの情報教育のスペシャリストの方が来られて、まずは、保護者が危険性について学んだ上でそれを各学校に持ち帰って頂き、理事会等で危険性と対応を検討して頂く様にしています。この件につきましては、行政主体だけではなかなか解決できなくて、PTA を中心に教育委員会・学校等連携して対策を行おうとしているところです。

●その他

○保・幼・小の連携会議について

〈毛利学校教育課指導室長〉

本年度、第1回目は1月13日火曜日に保・幼・小の連携会議を開催します。内容につきましては、さくら保育園の山本園長の実践発表で北小学校・北中学校区で行っています「ほくほく夢ネット」の取組みについてです。また、年度末に保・幼・小で連絡会を子どもの状況の引継ぎを行っているのですが、これを一堂に会して、なんとかできないだろうかという事で協議します。これから先、小学校入学にあたって子どもたちの実態をしっかり把握して小学校生活を有意義に過ごしてもらいたいという事で、教育委員会だけでなく子ども未来課、健康増進課、保健センター含めて保・幼・小の連携を進めていきたいと思ひます。

○全国学力状況調査の結果発表について

〈片平学校教育課長〉

結果発表については、12月25日ホームページの方で公表されております。

〈衛藤委員〉

私が一番気にしているのが、インターネットで見ても保護者は文章を読まないのではないのでしょうか。数字とグラフしか見ないような気がします。保護者の殆どは、学力状況調査については行われている事は分かっていると思いますが関心のある親とそうでない親がはっきり分かれていると思ひます。関心のある親は、学校の位置がどこにあるのか等の比較することも考えられます。今後、保護者から問い合わせがあると思ひますので、次回教育委員会で報告して頂けたらと思ひます。

〈増田教育長〉

結果については、今日、了承を得れば、またホームページで公開したいと思ひますが、その前に校長会・PTA 会長に成果と課題を説明しながら公表していきたいと思ひます。

(3) 協議事項

●平成27年2月定例教育委員会の開催について

〈田中教育総務課長〉

平成27年2月3日(火) 10時00分開催

●平成26年度卒業式・平成27年度入学式中間市教育委員会出席分担割

●その他

特になし

上記、事項について、出席委員全員協議の結果、承認された。